

令和4年度 江戸川区立小岩第三中学校 学校関係者評価 中間評価用報告書

<p>学校教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他を大切にし、思いやりのある人 ・心身ともに健康で、豊かな実践力のある人 ・積極的に学習し、考えて行動できる人 ・文化や伝統を尊重し、社会に貢献できる人 	<p>目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像</p>	<p>目指す学校像・・・校訓である「公德」「礼讓」「明朗」な生徒の育成を目指す学校 ～江戸川一面倒見の良い学校～ 目指す生徒像・・・①自ら考え、判断、行動し、確かな学力を身に付ける姿勢をもつ生徒 ②規範意識・人権意識を身に付け、豊かな心をもつ生徒 ③自主性・社会性をもち、地域に貢献する生徒 目指す教師像・・・①確かな教科指導力・生徒指導力を身に付けるため研鑽を重ねる教師 ②生徒の将来を展望し、生徒一人ひとりの理解に努める教師 ③保護者・地域から信頼され、愛される学校づくりに邁進する教師</p>
---	-------------------------------------	---

<p>前年度までの学校経営上の成果と課題</p>	<p><成果>学校全体で「心を耕し、身体を鍛え、学力を伸ばす」学校を目指し、健全育成の取り組みを進めてきた。その成果として、心身ともに健康で、思考力・判断力・表現力を身に付けた生徒の育成を進めている。 <課題>授業のユニバーサルデザイン化をさらに進め、効果的な指導方法を授業に取り入れるなど、教科指導法の改善を進めるために研修を積み上げていく。教職員の働き方改革を進め、前年度までの指導を継続・発展させていく必要がある。</p>
--------------------------	--

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		年度末に向けた改善策	
					取組	成果	評価	コメント		
いきいきと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	・7つの主な事業(取組)に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・確かな学力向上推進プランの実施 ・学力向上のための放課後補習の実施 ・eライブラリアドバンスの積極的活用	・次年度、全国学力調査で平均の数値を超えられるように学力の基礎を作る。 ・年間150回の外部講師による補習教室を実施する。 ・eライブラリアドバンスを定期考査の内容と連動させるよう活用する。	B	B	A	・授業など指導を行う中で、生徒の学力を高めることができるよう、継続して生徒を指導してほしい。	・放課後補習教室はまず3年生を中心に取り組んでいるが、3学期は受験となることから、3学期に入る頃には1・2年生を対象をシフトするよう計画する。 ・eライブラリアドバンスをただ活用するだけでなく、実力がつくものとなるよう、授業と連動するような活用を継続して行。	
	体力の向上	・「運動意欲の向上」に向けた取組の実施・充実	・授業開始時の補強運動	・毎時の授業で5～8分程度の補助運動を実施し、主運動につながる体力を高める。 ・次年度、新体力テストで8割以上の種目で、都・全国平均の数値を超えられるように土台を作る。	A	B	A	・コロナ禍でも体力が落ちないよう、補助運動を計画的に実施することで、運動会も安全に実施することができた。 ・保健体育の授業にて、補助運動を継続的に取り入れることで、生徒の体力向上・維持に繋げる指導を取り組んだ。	・運動会を見学し、コロナ禍ではあるが生徒が頑張る様子が多く見られた。今後も授業を通じて体力を向上させることができるよう指導してほしい。 ・部活動も含め、今後も活気ある学校であってほしい。	・コロナ禍が影響しているのか、ここ数年生徒の持久力に課題が見られる。補助運動を今後も計画的に実施し、体力が落ちないよう指導する。
	読書科の更なる充実	・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	・ビブリオバトル(3年) ・ビブリオバトル、ブックポスター(2年) ・ブックポスター(1年)	・図書館の巡回指導員より助言を受け、各学年1回以上の読書科(調べ学習等)を実践していく。	A	B	A	・2学期に実施予定の読書活動を各学年計画する中で、図書館の巡回指導員による助言を受け、準備を行った。 ・探究活動のために学校図書館や学習用タブレットを活用し、情報収集・分析をしてまとめる力を身に付けるための指導に取り組んでいる。	・これまで学芸発表会などでも読書についての取組みが発表されてきている。継続して指導し、読書が好きになる生徒が多く育ってほしい。	・学校の伝統となっている読書活動が、2学期に予定しているものが多いことから、生徒が読書活動を通して本への興味を持つことができるよう、継続して指導を行う。 ・図書館の巡回指導員との連携を継続し、学校図書館の管理を学ぶだけでなく、今後は図書委員会との連携も深めていく。
特別支援教育の推進	共生社会の実現に向けた教育の推進	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の充実	・特別支援委員会の設置 ・授業のユニバーサルデザイン化の実施 ・エンカレッジルームの活用 ・学校だよりの交換を通じた交流	・週1回、特別支援委員会による情報の共有、エンカレッジルームの活用についての共有を行う。 ・授業のユニバーサルデザイン化について、全学年授業研究を取り入れた研修を実施する。	A	A	A	・特別支援委員会を毎週1回実施し、個別支援が必要な生徒情報の共有、エンカレッジルームの活用状況の共有を行った。 ・1学期は3学年全クラスで授業のユニバーサルデザイン化をテーマとした研究授業を実施した。	・生徒は授業見学の中で、落ち着いて授業を受けている様子が見られた。今後も継続して、生徒が学ぶ意欲を高めることができる授業を行ってほしい。	・授業のユニバーサルデザイン化について、昨年度研修を行った。その研修をより実践に取り入れ、学校として効果的な指導の共有を行う。
	子どもたちの健全育成	・子どもたちの健全育成に向けた取組の強化	・いじめ対策委員会の設置 ・学習ボランティア、ステップサポーター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携による不登校支援	・週1回、いじめ対策委員会のメンバーを含む生活指導部会にて、情報・指導方針の共有を行う。	A	A	A	・いじめ対策委員会を兼ねる生活指導部会を週1回実施し、生徒情報・生活指導についての方針の共有を継続して行った。 ・今年度から巡回指導となったSSWによる生徒、保護者への面接の体制を整え、より連携した組織的な支援を行った。	・生徒は現在、学校生活を落ち着いて過ごしているようだ。この状況が継続していくことができるよう、今後も安全で安心できる学校づくりに取り組んでほしい。	・ふれあい月間などの取組みも通じて、学校としてのいじめへの対策について、より深く理解し、未然防止のための取組を行う。
学校と家庭、地域、関係機関との連携強化	学校関係者評価の充実	教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施・改善	・学校評議員会の設置 ・生徒、保護者、学校評議員による学校評価の実施	・年2回学校評議員会を実施し、情報交換を行う。 ・生徒、保護者、学校評議員による学校評価を年1回実施。	A	A	A	・1学期に第1回学校評議員会を実施し、授業見学を行った後に情報交換を行った。	・学校だよりや学校公開など、コロナ禍ではあるが地域への発信があり、ありがたいです。 ・学校評議員だけでなく、民生児童委員としての活動も含め学校を応援してくため、今後も情報交換会を実施してほしい。	・2学期に実施する学校評価を分析し、第2回学校評議員会にて報告と、課題の改善方法などを協議する。学校全体としてCPDCAサイクルを意識し、地域の意見を取り入れながら改善を目指す。
特色ある教育の展開	「学校における働き方改革プラン」	「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施	・業務量の適切な管理 ・「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に従った活動時間の管理	・月の時間外勤務が80時間を超える教員をゼロにする。 ・週の活動時間を16時間を超えないようにする。平日1日、週休日1日の休業日を設定する。1日の活動時間は学期中は3時間以内、長期休業中は4時間以内	A	A	B	・時間外勤務が80時間を超えないよう周知するだけでなく、残業の多い教員への個別面接を行うことで、月の時間外勤務が80時間を超える教員はゼロとなった。 ・部活動の活動時間を管理し、無理のない活動と	・いつも遅くまで先生方は頑張っている。無理なく心身ともに健康な状態で生徒に関われるよう、今後も取り組んでほしい。	・ただ時間外勤務時間を減らすだけでなく、やりがいを残しつつ、時間の管理を教員ができるためのより良い時間管理法を学校全体として共有する。 ・限られた時間の中で最大限の結果を目指す部活運営の徹底を目指す。